

研究課題 (テーマ)		医薬品工学学生実験および卒業研究1の実施	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	医薬品工学科	教授	榊 利之
	医薬品工学科		教員全員
研究結果の概要			
<p>本プログラムでは、3年次生になった医薬品工学科一期生に対し、医薬品工学学生実験3～7を前期に、卒業研究1を後期に実施した。これらは4年生通年の卒研2につながる重要な科目であり、これらの充実化を図ることは医薬品工学科の教育にとってきわめて重要である。</p> <p>経費の多くを実験に必要な機器および実験器具類の購入に充て、より精度の高い実験が可能になった。医薬品工学実験3～7については、提出されたレポートの内容から、多くの学生が実験の目的・意義を十分に理解し、得られた実験結果に対して適切に考察したと思われる。また、卒業研究1についても、多くの学生に対し、十分な研究成果・教育効果と達成感を与えたと考えられる。</p> <p>年度当初は進学希望者が6名であったが、卒研1終了後、進学希望者は14名に増えた。これは学生実験3～7および卒研1の内容が充実したものであったことを示唆しており、本プログラムの意義が大きいことは間違いない。</p>			
今後の展開			
<p>医薬品工学実験3～7については改善の余地があり、毎年、検討を重ねていくことが重要である。</p>			